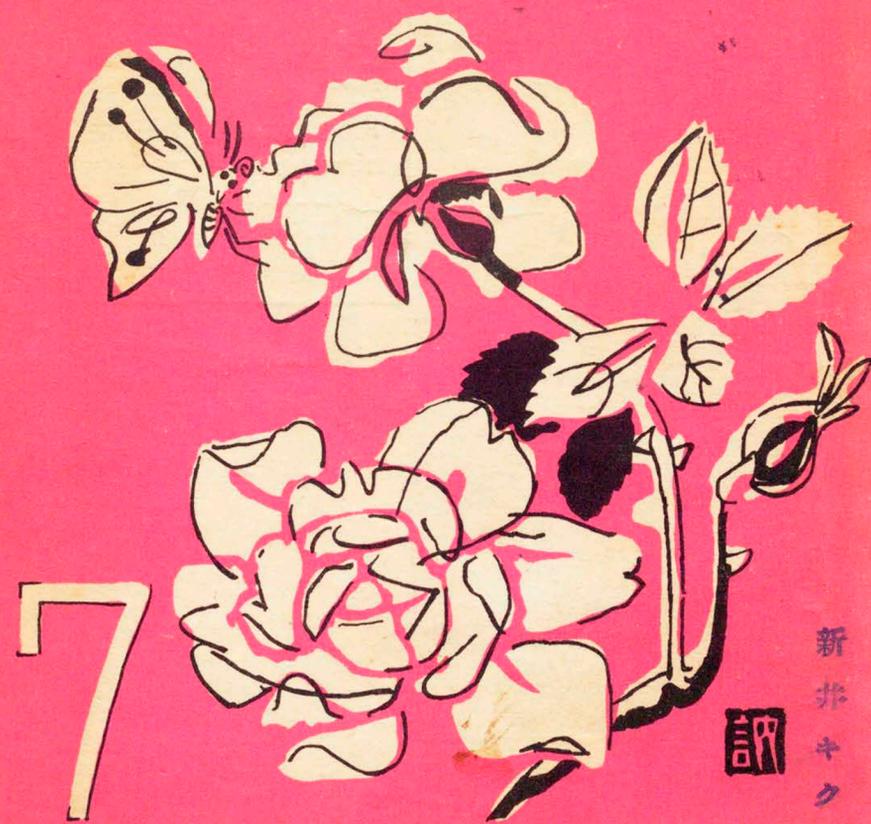


須賀學園生徒會

# ひめまつ

昭和28年3月15日印刷發行





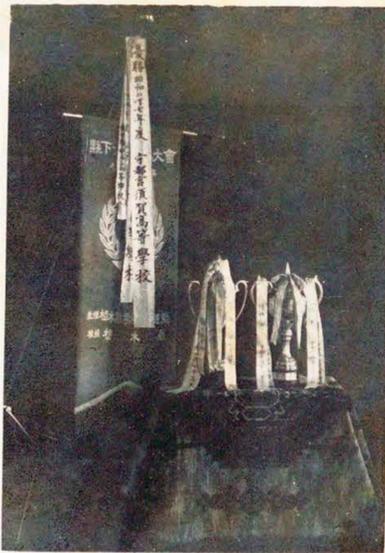
国体予選優勝（総合グラウンド）



第七回国体ソフトボール第三位  
賞状授与式（山形）



明善高と対戦・本校守備（山形）



優勝旗・優勝カップ

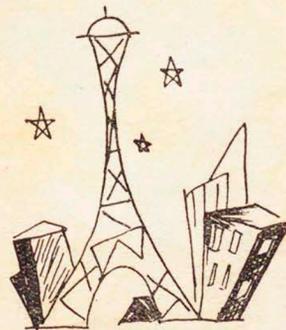
ひ め ま つ

第 7 號

—目 次—

巻 頭 言……須賀友正… 1  
 みちのくの国体……土岐 栄… 2  
 バザー記録……………21  
 母を讀えて……………26  
 私達の詩集……………29  
 私達の作文集……………32  
 私達の歌集・句集……………50  
 年を送り年を迎り……………50  
 クラブ活動告知板……………57  
 27年の学校行事……………64

職員住所録・編集後記  
 表紙 島田 晴 郎  
 口絵 学園ポर्टレート



カット 大森良子

# 巻頭言

学校長  
須賀友正



藍色の空に煙のように白い雲が流れて、透明な冷たさの中にも、光りほらもう温かい深  
いを輝かせている。立春の今日、私はひとり静かな窓辺に「ひめまつ」に寄せる、私の  
年中行事の一つである巻頭言を書いている。

思えばもう一年が過ぎたのだ。青春の歎びに燃える若い人々の中にいると時間を忘れ  
年令を忘れ、自分も若い人々と全く同じ気持ちで過しているが、私は私なりに私の一年を  
過したのだ。このような感慨を今日私が語るのも、皆さんのような若い年代には、今の  
私のような年代の人の気持ちを推しはかる等という事は到底できもしないし、またその  
必要もないのだが、校長の言葉として、若い人々の若さの一期に、誇んだ私のこの感  
慨が、やがて成人した或る日のあなた方の胸に響いて、あなた方の感慨の一つになつて  
もらいたい……と、ふとこんなことを考えたからに他ならない。

独立の年、立太子礼、昭和二十七年は国家的にも意義深い年であり、本校としてもソ  
フトボールの国体出場とその活躍、伝統の家庭科教授内容の充実を期し、文部省及び県  
よりの産業教育振興補助を得、調理室の改造整備、和洋裁に関する設備の拡充が着々そ  
の緒につき近く完成の運びとなつてゐる等一しお意義ある年であつた。現在生徒数千三  
百、卒業生九千余、かく校運の発展を見るにつけPTAはじめ関係各方面の温い後援に  
対して何と御礼を申上げてよいか只々感謝の他はない。

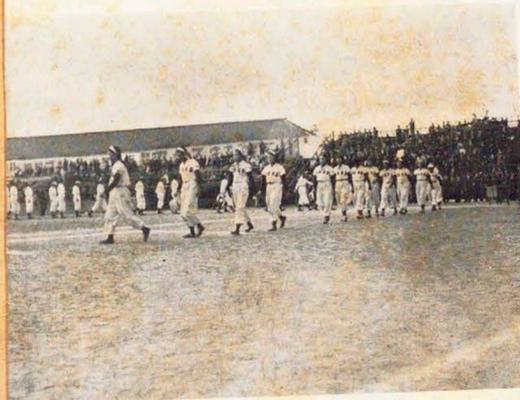
やがて卒業式と同時に多くの愛し子と別れなければならない。教え子達よ、どんな環  
境の中でも素直に我慢強く清く美しく最善の道を歩んでくれるよう切望する。



全日本ソフトボール大会大阪西の宮グラウンド

須賀高  
27年度本場メンバー

全日本ソフトボール大会出場（大阪西の宮球場）



第七回国体閉会式(山形)



第4回全日本女子ソフトボール選手権大会  
1952.7.31-8.10

全日本大会出場式（大阪西の宮）



東根駅前にて(山形)

